

監修指導

同志社女子大学名誉教授 文学博士 深田尚彦

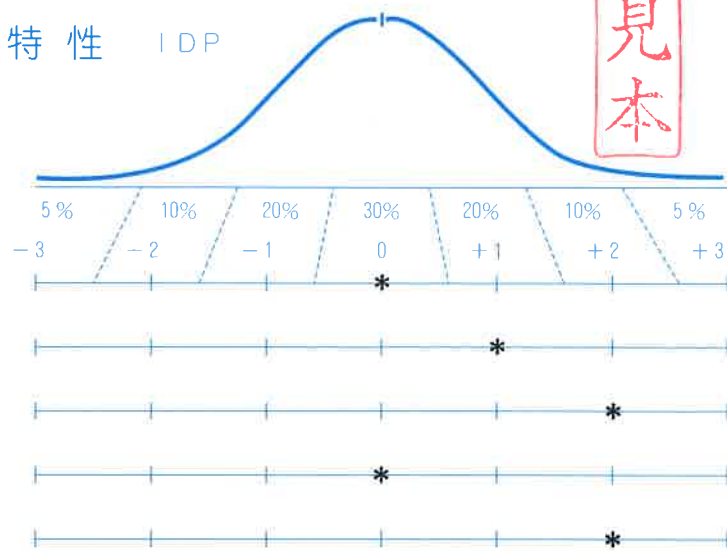
検査番号 3148096

氏名 ニホン ハナコ

03 - C 5 - 8 4

平成 22 年 4 月 5 日 実施

## 動作特性 IDP



自分の能力と欠点については良く知っておく事が重要です。欠点を知っておれば運転の時にも日常生活においても、どの点に特に注意をすべきかが明らかになるし、又用心深くも遠慮深くもなりましょう。あなたについてのテスト結果から下記の様な総合評価が行なわれました。

※測定結果は7段階にわけて示してあります。+3が最も良く、-3は悪い。0は平均、人なみと言う事である。+3の成績をとる人は100人中に5人、+2をとる人は10人、+1をとる人は20人で30人は0をとる。逆に-3の不良成績は100人中下からかぞえて5人あると言う(左図参照)事です。大いに参考にして運転中は特に注意して、事故を起こさないようにして下さい。

注意力なし  
持続力悪い  
慣れの速さおそい  
判断力悪い  
安定性低い

注意力ある  
持続力よい  
慣れの速さは早い  
判断力よい  
安定性高い

- 【\*\*】 あなたの注意力は、まず人並です。幅広く周囲の事柄を正しく把握出来るよう心がけてください。
- 【\*\*】 同じ操作をするとき、持続力のある人は、事故を起しにくい。あなたは、この点で優れています。
- 【\*\*】 同じ操作をするとき、慣れの早い人は、過ちが少ない。この点であなたはかなり優れています。つまり要領の良い人なのです。
- 【\*\*】 あなたはとっさの場面で、周囲の状況を迅速に見極めて、その場に応じた、正しい判断をする能力は、人並です。
- 【\*\*】 操作の早さや、動作が安定しています。状況の変化にも適切な判断が、とれる素質に恵まれています。それでも注意は怠らずにしましょう。

## 心理的特性(態度) IDP

短気・あせり  
無責任  
根気・忍耐を欠く  
社交性欠く  
消極的  
大胆すぎる  
遵法心低い(法律を守る)  
精神的な不健康

平静・おちつき  
責任感  
忍耐力  
社交・協調  
積極的  
用心深い  
遵法心高い  
精神的健康

- 【\*\*】 あせりや、気短かの傾向が特に高くなく人並です。腹を立てたり人との争いもしないよう心掛けてください。
- 【\*\*】 あなたの自信と責任感是人並です。自分の仕事を大切に完成、完了に向けて努力しましょう。
- 【\*\*】 あなたは我慢強いようです。身勝手な傾向も見られません。人の注意をよく聞けば尚一層我慢強くなるでしょう。
- 【\*\*】 人と一緒に仕事をするのが、やや嫌いなようです。他の人とも協調して付き合いになれるよう心掛けましょう。
- 【\*\*】 自分から進んで仕事をする傾向がいくらか見られる。他人についていくよりも、自から進んで目的を持つようにしましょう。
- 【\*\*】 何をするにも用心深くてよい傾向です。時に判断をしぼり、敏速な決断が出来ぬ事もあるようです。
- 【\*\*】 法律を大切にしましょう。規則づくめで人を不自由にする事も、お互いの安全のためには、時に必要です。
- 【\*\*】 精神的に健康なようにみうけられます。これは活動や人との円満な関係には大切な条件なのです。

ルールマナーが身を守る。

## 診断ポイント

(S.K. system)

頑張り屋で几帳面な方です。コツコツ型で確実に物事を処理していきます。手早くやるとか、要領よくやることはいささか苦手です。何事にも礼儀正しく、義理が多く、粘り強いところがあり一步一步進めていく努力型です。ややまわりくどく融通のききにくい傾向を持っています。

なんらかの動作をされる時の、特性に目立った欠点は無いようです。だからといって、油断は、最大の敵です。あなたの性格を十分理解し、運転時には、自分の調子を守られることを望みます。

動作に対する反応は、ごく普通です。精神的には安定していく年代ですが、動作反応は活発さを失いがちですから一層の注意を!

平素の心構えとしては常に、他人を思いやる、優しい心がけを、持って。行動されることが、必要です。多少気になるあなたの心理特性の注意点です。この点には、特に気を付けて、行動されることを望みます。

日常の、あなたの生活態度には、問題点は見られません。人生の充実期です。益々の努力を期待します。

安全運転に心がけましょう

## ④ 適性検査の意義

**安全運転に必要な要素**は、(1)運転技術、(2)道路交通関係法規、(3)通行場所の環境の理解と、(4)運転適性です。第(1)、(2)項は走行経験と共に向上するが、第(3)項はその場に行かねば体験出来ない。これらに反し第(4)項は比較的安定して変らない要素です。この第(4)項を測るのが、又、これに基づいて自動車運転学習者に勧告助言するのがこの適性検査表の狙いです。

**安全運転に必要な適性**は一言で言えば**注意力**で、(1)一瞬にどれ程**広い外界**を、又は**多くの事柄**を把握理解するか（注意の範囲、巾）、それをどの程度**正確**に行うか（正確度）と、その注意力がどの程度の**長時間**に渡って持続できるか（持続力）を指す。時間のたつにつれ**注意力は下がる**のが常で、これを**疲労**と言う。これに対し**注意力**を下げない様にする努力、能力を**集中**、**忍耐**等と呼ぶがこれは**体力**と**精神**によるものです。特に後者の要素が大切で本検査ではこれを重視します。

## ⑤ 検査の構成

本検査は、(1)“動力的特性”、(2)“心理的特性”から成り、(1)、(2)の機能の結果については診断ポイントにあなたの評価が記してあります。

**機能**、**特性**が人並か優、劣の何れであるかは、表面左のグラフを見ればすぐわかります。**\***印表示が右方にある程よいのは言う迄ありません。逆に、表面左のグラフの評価で**\***印が（-）側に多くあくれば心配です。

更に詳しい事は、動作的特性については上に心理特性については下に記載されているから見て下さい。

本検査は、被験者の欠点、短所を見つけておいては問題ではありませんが、欠点は放置すると事故のもととなるので、よく知って補う様に努力して頂きたい。**不快がらずに、欠点、短所の指摘を甘受して反省される様**、被験者にはお願いたします。

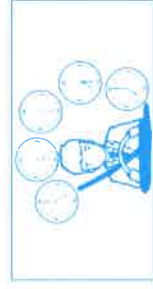
## ⑥ 動作的特性の読み方

**動作的特性**は、これから運転しようとする時、いかに心がはたらくかの優劣をさすので安全運転には大切です。

これが（-）側、即ち劣ると言う事は**作業に鈍**であると言う事で、遅かったり誤りがあると言う事になります。



**注意力は**  
正しく（誤らず）物を見、反応する事が出来るかどうかを示します。



**持続力は**  
注意力が長く続くかどうかを示します。



**慣れの速さは**  
新しい操作に慣れる事が早いかどうかを示すもので、要領のよさ、のみ込みのよさを言うと考えて下さい。



**判断力は**  
周囲の事態を早極めて、その場に応じた正しい判断をくださる必要があります。



**安定性は**  
安全運転にとって、ムラ気は絶対に禁物です。

## ⑦ 心理的特性の読み方

**心理的特性**とは、被験者の性格や態度を指すもので、人間のものの考え方を指すと考えるとよい。交差点で、信号のかわるのを待ちきれずに、発進するかどうかは周りの状況にもよるが、その人の**性格**による所が多い。高速道路で多くの車が自分を追い抜いて行く時、心がイライラするか、気にならないかは、その人の性格に大いによる。交通事故の発生と運転者の性格の間には著しい関係があります。



**短気・あせり**  
短気・あせりの尺底値が右寄りなら平穏で落ち着いた様子、左寄りなら短気とあせりがあるのを示します。  
短気・あせりは事故を引き起し易いので、特に注意すべきです。



**責任感**  
無責任でなければ、責任感が高いと言う事です。  
事故発生率は、すべて責任感に係ると考えられます。無責任な人は身が軽く、慎重さを欠き易い。これも又、注意すべき特性です。



**根気・忍耐**  
根気、忍耐を欠くは、我慢が足らぬ事を言うので無責任とも、又、短気とも関連します。  
何事にも忍耐は大切で、混雑する路上でイライラするのは、根気、忍耐の欠乏による事が多い。この項目は安全運転には重要でず。



**社交性**  
社交性を欠く、他人との付き合いは、日常生活では勿論大切です。これを欠く人は、道路上で、自分一人が走っているわけでもないのに外部事情に腹を立て不快になる事がある。前後に多くの車が走るのには一つの社交の場と考えられるべきです。



**種雑性**  
消極性とは何事をするにも自ら進んでやろうとしない傾向を言います。消極的な人は時には慎重になれるかもしれないが、同時に責任、忍耐、努力を欠くものになるので安全運転の継続、確保には長くなりません。



**大胆横暴**  
大胆横暴が危険なのは言う迄もありません。  
“こちらが先に出来れば先方は引込むだろう”という考え方は横暴だし、自動車の走行ではいつも大胆横暴は危険のもとです。  
人は恐れを知らねはなりません。



**遵法心（法律を守る心）**  
遵法心低いのも又危険です。時には法律は規則すくめで人を不自由にすることが、お互いの安全のために、相互の法律遵守が必要なので、法律を守ってはいは何も出来ない”等と言う考えは大いに危険です。



**精神的不健康**  
精神的不健康は、頭痛や不眠、肩こり等と関連するもので望ましくありません。  
精神的不健康だと周囲の人や物の全てが不快に思え易く、感情的爆発や鬱うつを生じ易い。又、注意力を低める事にもなります。

## ⑧ 終りに

ここに述べた13の特性は、いずれも安全運転には不可欠で、相互に関連するものです。98項の質問に答えて頂いたが“はい”、“いいえ”、のいずれかに決められない項目の多い人は、多判断がつきにくく余りよろしくない傾向である。この傾向のある人については表面、最下段の診断ポイントにあなたの性格特性と“動作的特性”の評価を記してあります。参考にして下さい。

読んでわからない文章や意味については、遠慮なく適性検査システムのお尋ね下さい。この適性検査システムの作製には、コンピューターによってのみ可能な大量、且つ、複雑な分析過程が含まれており、又、採点評価についても極めて複雑な計算過程が用いられています。これによって客観、妥当性の得られている事をここに附記します。ここに打ち出された内容が、**あなたの将来の安全運転に役立つ事を祈ります。**